

静岡県月例経済報告

(平成29年10月号)

……平成29年8月を中心とした県内経済のすがた……

No. 498

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成29年8月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成29年8月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、意欲的な設備投資計画などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需要面

◎個人消費は、緩やかに持ち直している。

大型小売店販売額(8月)は、百貨店が2か月連続、スーパーが4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(8月)は、ホームセンターが2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月連続、コンビニエンスストアが14か月連続、ドラッグストアが6か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(8月)は、乗用車が13か月連続、軽自動車が6か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも10か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(8月)は、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が2か月連続、分譲住宅が3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(8月)は、2か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、増加の動きがみられる。

日銀短観(平成29年10月2日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業のいずれも増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(8月)は、5か月ぶりに前年実績を下回った。

◎輸出は、増加している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（8月）は、エアコンが2か月連続、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が2か月ぶり、自動車が10か月連続、二輪自動車類が8か月連続、科学光学機器が3か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（8月）は、原動機が前年実績を下回ったものの、パルプや自動車の部分品などで前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、860億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（7月）は、はん用・生産用・業務用機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が3か月連続、輸送機械が8か月連続、化学が7か月連続、食料品・たばこが6か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも7か月連続で前年水準を上回った。また、2か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（7月）は、総合では2か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（8月）は1.55倍で、前月を0.02ポイント下回った。また、43か月連続で1倍を上回った。なお、6か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（8月）は、49か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（7月）は、前年と同水準だった。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（8月）は、前年同月比2.4%増と前年実績を上回った。信用保証協会保証金額（8月）は、前年同月比19.6%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回った。

企業倒産（9月）は、件数は23件で前年同月比4.5%増と、前年実績を上回った。負債総額は同32.6%減と、前年実績を下回った。

《県の取組》「静岡県移動式レンダリング装置の設置・運営訓練」を全国で初めて実施

静岡県は、口蹄疫等の家畜伝染病の発生に備えて、農林水産省が所有する移動式レンダリング装置（注）を用いて、殺処分した牛を破碎し高温処理する訓練を全国で初めて実施しました。

訓練では、装置の運搬から設置、運営業者との連携作業や生成物の処分方法等を確認しました。

1 概要

名称 静岡県移動式レンダリング装置の設置・運営訓練
開催日時 平成29年10月18日（水）午前10時00分～正午まで
開催場所 静岡県畜産技術研究所（富士宮市猪之頭1945）
主催 静岡県、公益社団法人静岡県畜産協会

2 参加団体 静岡県、農林水産省、県内各市町、公益社団法人静岡県畜産協会、公益社団法人中央畜産会、家畜防疫に関する静岡県との協定締結団体、生産者団体、各都道府県家畜衛生関係者等
（訓練参加者 約30人、オブザーバー参加者 約120人）

3 実施内容

時刻	訓練内容
午前10時00分から	開会式
午前10時5分から午前11時55分まで	装置の稼働、生成物の運搬・焼却等
午前11時55分から正午まで	閉会式



（注）移動式レンダリング装置とは

家畜伝染病のまん延防止のため、殺処分した家畜の死体を破碎・加熱処理（レンダリング処理）し、口蹄疫等の病原体を殺滅する装置。

現在、農林水産省が都道府県の申請により貸付するため、1台のみ配備。

（配備場所：動物検疫所中部空港支所名古屋出張所野跡検疫場）

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

8 月 = 33,985百万円

*前年同月比： 1.4%減

(県内3百貨店、134スーパー合計)

<概況>

8月の大型小売店販売額は33,985百万円で、前年同月比1.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比0.6%減)が2か月連続、スーパー(同1.6%減)が4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品(前年同月比5.3%減)、家庭用品(同3.3%減)がいずれも9か月連続、身の回り品(同3.6%減)、飲食料品(同1.3%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.2%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	36,340	30,575	33,793	33,040	34,010	33,274	35,877	33,985
前年同月比(%)	▲0.3	▲3.1	▲0.9	0.5	▲0.3	0.1	▲0.4	▲1.4
うち百貨店(%)	0.1	▲3.9	▲0.5	1.9	4.0	2.5	▲1.7	▲0.6
スーパー(%)	▲0.4	▲2.9	▲1.0	0.1	▲1.3	▲0.5	▲0.1	▲1.6
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.1	▲2.7	▲0.8	1.1	▲0.6	0.2	▲0.2	0.6
うち百貨店(%)	▲1.2	▲1.8	▲0.7	1.0	0.1	1.5	▲1.3	2.1
スーパー(%)	▲1.1	▲3.1	▲0.9	1.1	▲0.9	▲0.4	0.4	0.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.9	▲4.7	▲1.7	0.3	▲0.2	▲0.2	0.5	0.2

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	▲1.2	▲6.9	▲5.8	▲1.3	▲1.8	▲3.3	▲1.9	▲5.3
うち紳士服・洋品	2.9	▲7.0	▲13.6	▲7.1	▲4.7	▲4.6	▲1.4	▲8.0
婦人・子供服・洋品	▲2.5	▲6.8	▲3.9	1.1	▲0.7	▲2.2	▲2.7	▲3.6
身の回り品	0.2	▲5.4	0.8	2.8	0.7	0.3	▲0.2	▲3.6
飲食料品	0.1	▲2.2	▲1.0	0.7	▲0.1	0.3	▲0.7	▲1.3
家庭用品	▲4.3	▲6.7	▲7.1	▲3.6	▲6.1	▲2.6	▲1.9	▲3.3
うち家庭用電気機械器具	▲6.0	▲8.6	▲20.2	▲12.3	▲21.4	▲10.5	▲2.5	▲12.1

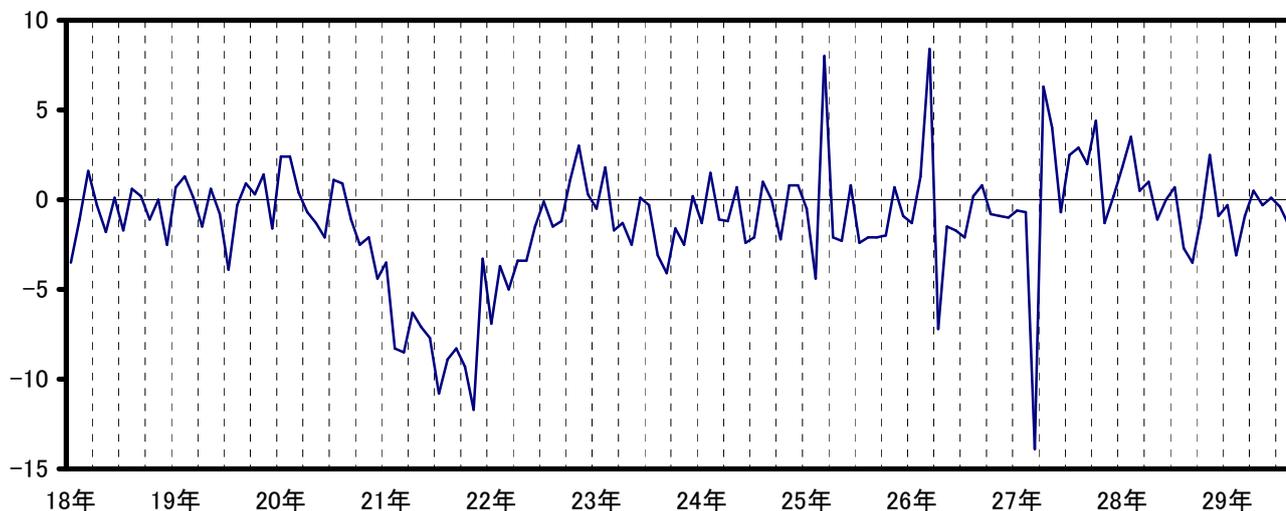
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

8月 = 5,020百万円

*前年同月比： 0.2%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

8月の県内3百貨店の販売額は5,020百万円で、前年同月比 0.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別にみると、衣料品（前年同月比 3.5%減）が3か月連続、身の回り品（同 0.5%減）が6か月ぶり、家庭用品（同 5.2%減）が8か月連続、食料品（同 2.3%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、雑貨（同 14.2%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額（百万円）	6,985	5,327	6,798	5,838	6,015	6,010	6,928	5,020
前年同月比（%）	0.2	▲ 3.8	▲ 0.4	2.0	3.9	2.6	▲ 1.8	0.2
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 0.9	0.7	0.0	1.4	▲ 1.4	2.0

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

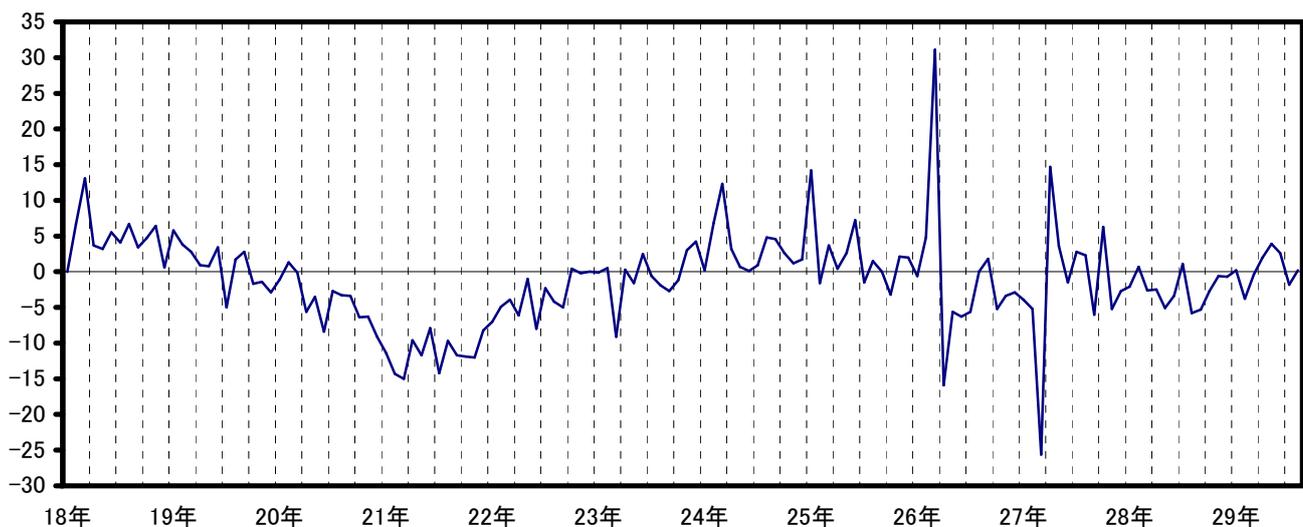
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
衣料品	▲ 2.5	▲ 7.3	▲ 6.8	1.5	0.4	▲ 1.6	▲ 4.5	▲ 3.5
うち紳士服・洋品	▲ 2.4	▲ 5.3	▲ 14.6	0.4	▲ 6.0	▲ 2.6	▲ 3.5	▲ 0.5
婦人服・洋品	▲ 2.0	▲ 8.3	▲ 5.5	1.8	1.8	▲ 0.9	▲ 5.7	▲ 2.2
子供服・洋品	▲ 7.3	▲ 3.5	▲ 7.7	▲ 0.2	▲ 0.6	11.1	▲ 4.3	▲ 4.4
身の回り品	6.3	▲ 2.1	3.0	4.4	4.1	1.2	0.5	▲ 0.5
家庭用品	▲ 6.5	▲ 7.5	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 2.7	▲ 2.8	▲ 7.4	▲ 5.2
食料品	▲ 4.8	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	6.1	0.6	▲ 1.8	▲ 2.3
雑貨	13.2	2.8	14.8	10.3	10.5	17.0	4.6	14.2
うち美術・宝飾・貴金属	24.1	▲ 9.3	13.6	11.7	24.4	23.3	9.1	23.0

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

8月 = 70,918百万円

*前年同月比： 2.7%増

(県内92家電大型専門店、1,758コンビニエンスストア、457ドラッグストア、101ホームセンター合計)

<概況>

8月の専門量販店等販売額は70,918百万円で、前年同月比 2.7%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 1.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 4.6%増）が2か月連続、コンビニエンスストア（同 2.0%増）が14か月連続、ドラッグストア（同 4.8%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
販売額(百万円)	63,347	57,543	67,348	64,824	67,888	64,855	74,952	70,918
前年同月比(%)	2.7	▲0.1	3.2	4.0	3.7	2.1	3.6	2.7
うち 家電大型専門店(%)	▲2.0	▲0.4	2.1	6.0	2.5	▲3.4	6.4	4.6
コンビニエンスストア(%)	3.5	0.7	3.4	2.9	2.9	2.4	2.8	2.0
ドラッグストア(%)	4.4	0.0	5.3	7.0	6.5	5.6	5.2	4.8
ホームセンター(%)	2.0	▲2.9	▲0.8	▲0.2	1.7	▲1.6	0.1	▲1.0
(参考)全国前年同月比(%)	2.7	0.4	3.1	3.9	3.1	2.3	4.5	3.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

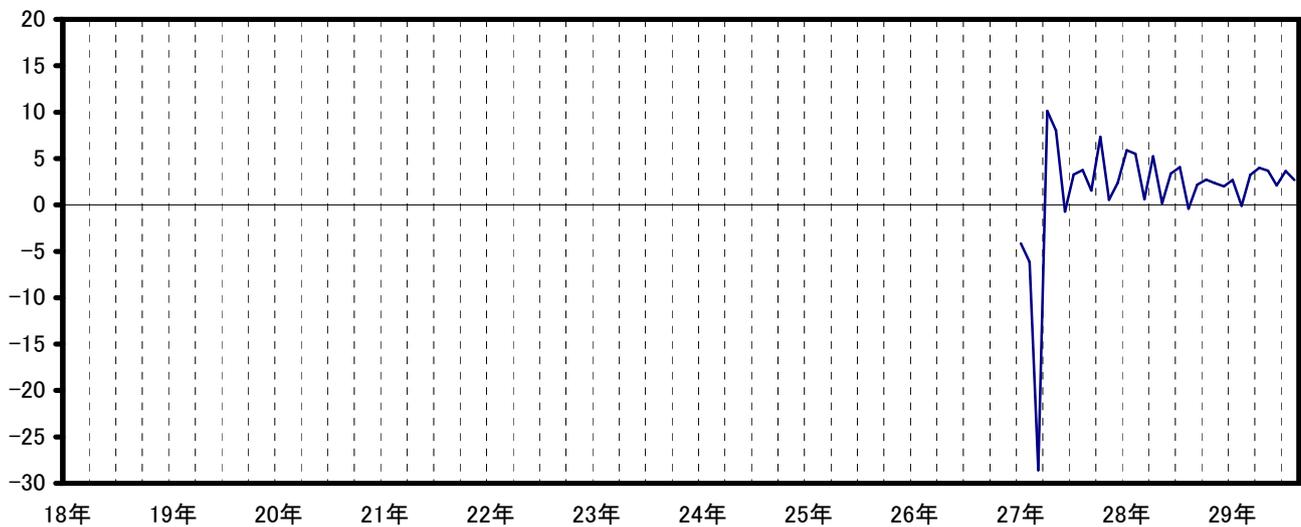
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

8月 = 11,788台

*前年同月比： 5.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

8月の自動車(新車)新規登録台数は11,788台(前年同月比 5.8%増)となり、10か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 8.6%増)が13か月連続、軽自動車(同 2.2%増)が6か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
登録台数(台)	14,916	17,905	24,398	11,763	12,394	16,106	14,281	11,788
前年同月比(%)	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4	4.8	5.8
(参考)全国前年同月比(%)	4.4	8.2	9.6	10.4	13.4	15.1	2.6	4.1

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

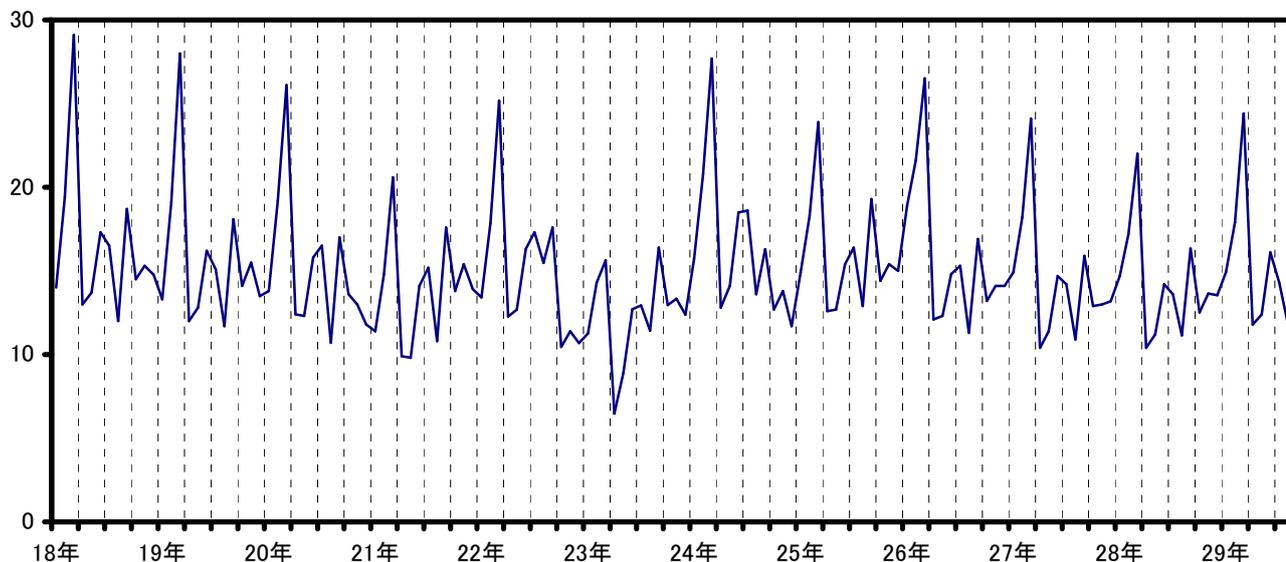
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全乗用車	1.1	4.0	10.7	12.8	10.7	13.4	4.8	5.8
乗用車	9.9	10.5	17.5	7.9	7.1	14.7	1.7	8.6
軽自動車	▲ 9.1	▲ 3.3	2.3	19.5	15.8	11.5	9.2	2.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

8月 = 2,387 戸

*前年同月比： 0.7%減

<概況>

8月の新設住宅着工戸数は2,387戸で、前年同月比 0.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（前年同月比 22.5%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 9.9%減）が2か月連続、分譲住宅（同 17.5%減）が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

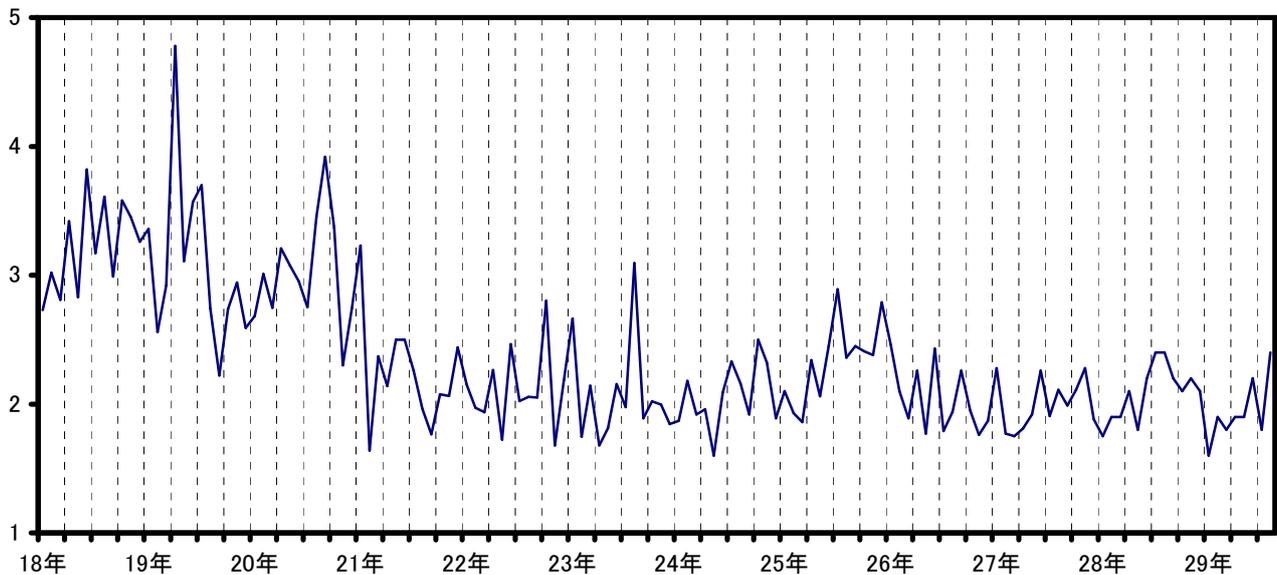
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
戸数（戸）	1,645	1,931	1,806	1,883	1,937	2,208	1,838	2,387
前年同月比（%）	▲ 6.2	1.9	▲ 4.2	▲ 10.2	6.6	0.6	▲ 22.0	▲ 0.7
うち持家（%）	▲ 2.4	28.5	▲ 13.3	3.4	13.0	8.0	▲ 17.4	▲ 9.9
貸家（%）	▲ 24.7	▲ 5.7	▲ 27.6	▲ 15.6	▲ 4.0	8.5	▲ 36.1	22.5
分譲住宅（%）	32.0	▲ 38.9	94.0	▲ 32.8	13.3	▲ 17.9	▲ 9.3	▲ 17.5
(参考)全国前年同月比（%）	12.8	▲ 2.6	0.2	1.9	▲ 0.3	1.7	▲ 2.3	▲ 2.0

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

8月 = 24,287百万円

*前年同月比：17.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

8月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は24,287百万円で、前年同月比17.7%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は792件で、前年同月比10.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
金額(百万円)	10,454	12,463	16,089	55,088	20,047	32,699	27,049	24,287
前年同月比(%)	16.6	91.7	7.2	9.3	4.9	43.8	▲3.4	▲17.7
年度累計前年同月比(%)	4.6	6.8	6.9	9.3	8.1	16.9	12.2	6.3
件数(件)	434	321	235	495	467	721	745	792
前年同月比(%)	▲1.6	101.9	40.7	3.6	18.8	14.3	▲8.9	▲10.5
年度累計前年同月比(%)	0.4	2.7	3.5	3.6	10.4	12.1	4.7	0.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

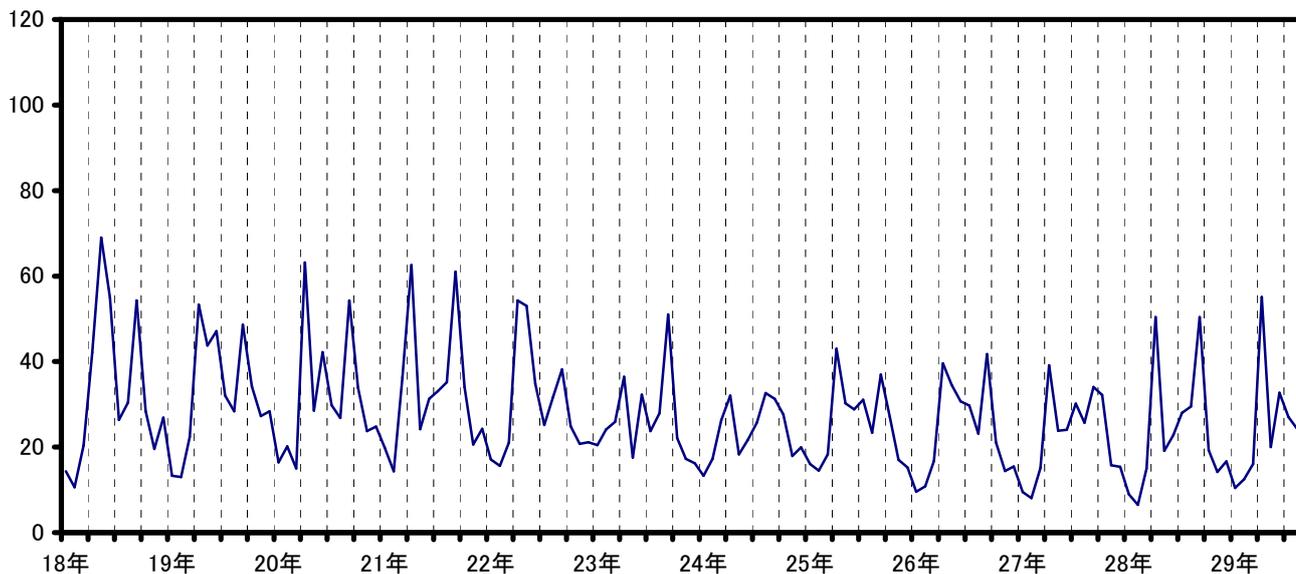
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国	110.8	34.6	▲0.7	▲38.2	53.6	135.1	▲3.0	▲40.7
独立行政法人等	72.5	17.1	▲92.2	208.8	▲71.2	98.0	▲92.5	5,289.9
県	19.1	519.7	184.2	30.6	105.1	▲7.3	▲17.2	▲18.2
市町	▲23.0	7.3	7.9	▲17.8	5.8	38.0	▲0.6	▲17.8
地方公社	—	—	—	123.4	▲96.0	—	707.1	39.3
その他	197.5	▲21.3	50.9	▲74.8	▲107.0	17.9	46.2	▲47.0

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業、全産業では減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業のいずれも減少した。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 24.6%増）、非製造業（同 1.9%増）、全産業（同 14.3%増）のいずれも増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.9%増）、非製造業（同 3.1%増）、全産業（同 14.1%増）のいずれも増加の計画となっている。

8月の着工建築物床面積（非居住用）は131,182㎡で、前年同月比 29.5%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.5	(2.3) 14.3
	全国	0.4	(1.7) 4.6
製造業	県	0.1	(2.4) 24.6
	全国	2.6	(0.9) 11.7
非製造業	県	▲1.2	(2.1) 1.9
	全国	▲0.7	(2.1) 0.8

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (実績)	29年度 (計画)
全産業	県	▲0.6	(0.7) 14.1
	全国	0.3	(1.0) 6.7
製造業	県	▲0.4	(0.8) 17.9
	全国	0.6	(0.3) 8.2
非製造業	県	▲1.3	(0.5) 3.1
	全国	0.0	(1.7) 5.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年9月調査)」

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	154,653	82,466	89,233	149,936	145,007	176,342	117,369	131,182
前年同月比（%）	7.6	▲0.6	▲42.2	66.6	115.2	77.4	8.3	▲29.5
(参考) 全国前年同月比（%）	21.9	8.1	▲12.5	19.3	▲11.0	2.7	18.0	▲3.3

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		29年6月	29年9月	29年12月 (予測)
全産業		12	16	7
	製造業	16	18	11
	非製造業	8	14	4
(参考) 全国・全産業		12	15	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年9月調査)」

5 輸出

8月 = 171,427百万円

*前年同月比： 18.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸出総額は171,427百万円で、前年同月比 18.2%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 12.6%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 0.3%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 5.8%増）が2か月ぶり、自動車（同 308.4%増）が10か月連続、二輪自動車類（同 28.4%増）が8か月連続、科学光学機器（同 53.8%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（前年同月比 0.9%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 23.0%増）が10か月連続、EU向け（同 41.8%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸出総額(百万円)	149,185	182,936	197,411	191,420	149,761	174,963	184,814	171,427
前年同月比(%)	3.9	8.3	10.1	14.6	7.4	12.1	15.0	18.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
原動機	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 2.5	5.1	6.8	2.1	▲ 0.4	5.8
エアコン	4.3	6.8	15.8	▲ 5.9	14.4	7.4	▲ 1.3	▲ 12.6
自動車	66.5	196.7	135.7	139.7	44.1	83.6	230.6	308.4
自動車の部分品	12.0	10.0	0.9	10.0	▲ 8.7	▲ 2.6	▲ 13.1	▲ 0.3
二輪自動車類	3.0	6.2	5.0	26.9	30.4	18.9	18.6	28.4
科学光学機器	▲ 6.6	16.1	▲ 14.2	4.8	▲ 4.8	0.4	22.5	53.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	7.8	15.1	16.5	14.2	14.7	8.1	15.4	23.0
米国	▲ 8.4	▲ 14.6	▲ 0.1	0.2	3.2	0.0	▲ 4.1	▲ 0.9
EU	24.9	49.9	19.6	40.5	2.9	48.6	42.9	41.8

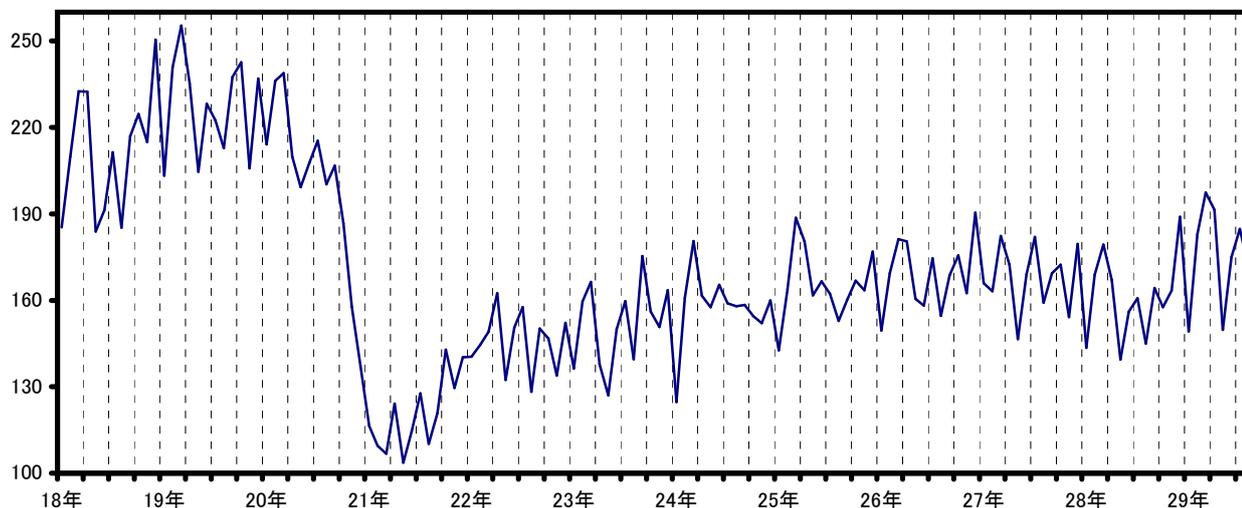
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

8月 = 85,384百万円

*前年同月比： 13.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

8月の清水税関支署管内の輸入総額は85,384百万円で、前年同月比 13.4%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 68.9%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 52.1%増）が3か月連続、木材（同 9.8%増）が2か月ぶり、パルプ（同 37.6%増）が7か月連続、紙類及び同製品（同 13.2%増）が2か月連続、自動車の部分品（同 21.3%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 4.9%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 1.6%増）が6か月連続、EUから（同 30.7%増）が7か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
輸入総額(百万円)	84,538	71,963	90,662	78,666	80,301	83,549	82,166	85,384
前年同月比(%)	▲ 2.5	▲ 5.7	16.7	11.3	1.7	17.9	21.8	13.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
魚介類	▲ 4.9	3.7	20.2	8.6	▲ 31.2	69.1	26.4	52.1
木材	▲ 9.5	▲ 11.3	20.6	9.7	▲ 4.4	13.7	▲ 7.7	9.8
パルプ	▲ 11.1	5.6	28.8	21.3	55.2	5.5	39.0	37.6
紙類及び同製品	▲ 3.0	▲ 32.2	▲ 20.3	98.7	▲ 17.2	▲ 36.5	16.6	13.2
原動機	58.1	180.2	▲ 29.5	85.0	▲ 50.4	▲ 37.6	▲ 29.6	▲ 68.9
自動車の部分品	▲ 29.1	▲ 8.6	23.7	19.0	33.2	12.1	24.1	21.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

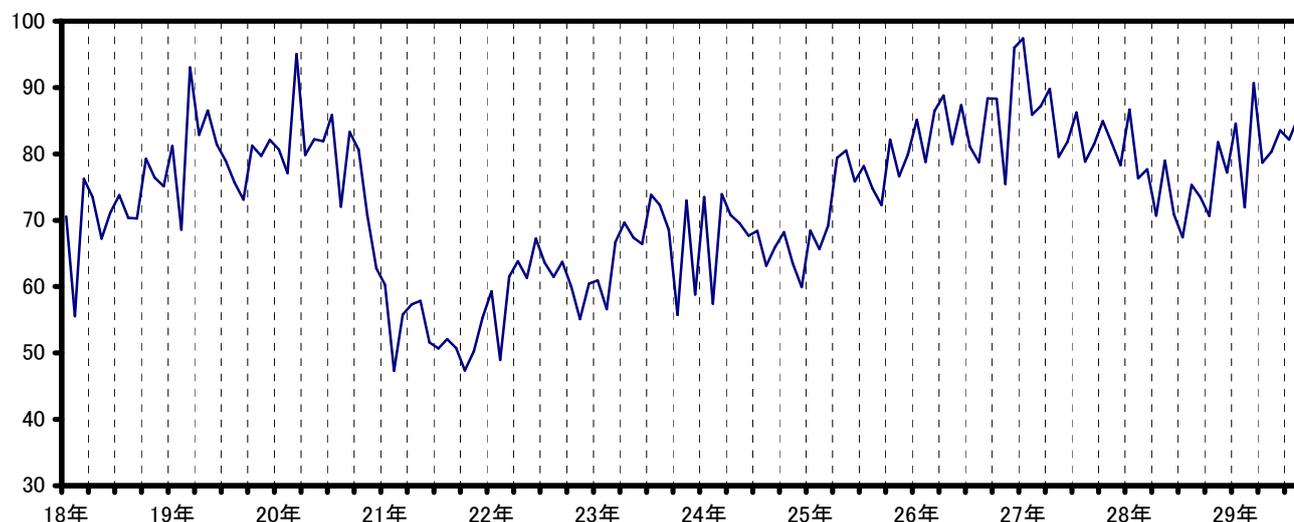
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
アジア	▲ 0.3	▲ 14.5	13.4	4.0	10.6	23.8	15.5	1.6
米国	▲ 17.1	11.5	▲ 19.8	18.3	▲ 10.5	▲ 9.7	35.8	▲ 4.9
EU	▲ 12.6	38.5	9.7	35.7	18.7	31.1	17.7	30.7

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

7月 = 91.3

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.0%減

*前年同月比(原指数) : 3.0%増

<概況>

7月の鉱工業生産指数(総合)は91.3(季節調整済指数)で、前月比1.0%減となり、2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は3.0%増と7か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比3.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(同2.7%減)がいずれも2か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同4.1%増)が3か月連続、輸送機械(同3.7%増)が8か月連続、化学(同7.0%増)が7か月連続、食料品・たばこ(同0.8%増)が6か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	91.6	93.1	95.3	96.4	94.8	91.4	92.2	91.3
前月比(%)	1.8	1.6	2.4	1.2	▲1.7	▲3.6	0.9	▲1.0
前年同月比(%)	▲3.4	6.6	7.5	8.8	1.0	4.8	3.7	3.0
(参考)全国前年同月比(%)	3.0	3.2	4.8	3.3	5.7	6.8	4.9	4.7

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.1	▲3.0	▲2.1	▲7.7	▲13.8	4.6	▲7.8	▲3.7
電気機械工業	7.0	10.1	11.3	4.8	▲2.1	6.8	3.7	4.1
輸送機械工業	3.7	13.2	22.2	38.8	12.3	7.7	14.8	3.7
化学工業	▲22.8	8.1	4.2	1.1	2.8	11.9	4.3	7.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.0	▲1.8	▲2.4	▲0.4	1.9	3.4	▲0.2	▲2.7
食料品・たばこ工業	▲12.8	2.0	▲3.0	▲7.7	▲9.3	▲5.2	▲3.2	0.8

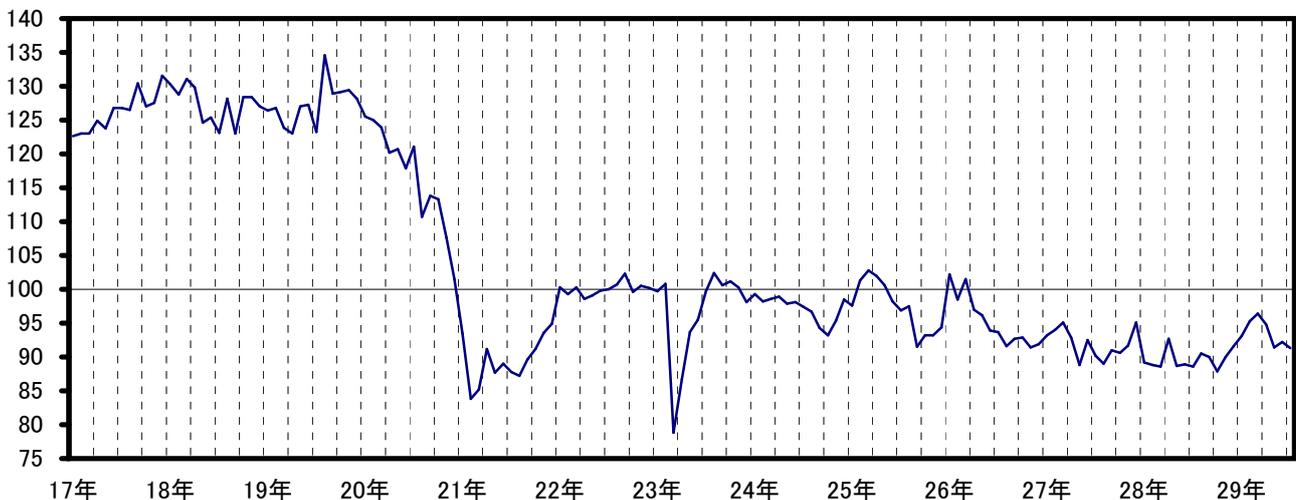
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

7月 = 113.4

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.1%減

*前年同月比(原指数) : 0.5%減

<概況>

7月の鋳工業在庫指数(総合)は113.4(季節調整済指数)で、前月比は4.1%減と2か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は0.5%減と2か月ぶりに前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比1.6%増)が3か月連続、化学(同5.9%増)が2か月連続、食料品・たばこ(同1.7%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同0.7%減)が4か月連続、輸送機械(同22.7%減)、パルプ・紙・紙加工品(同2.5%減)がいずれも5か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	106.1	112.4	119.4	118.2	116.7	114.2	118.2	113.4
前月比(%)	▲2.7	5.9	6.2	▲1.0	▲1.3	▲2.1	3.5	▲4.1
前年同月比(%)	▲13.9	▲4.4	▲2.2	▲2.7	▲0.8	▲0.6	3.6	▲0.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲5.0	▲4.3	▲3.3	▲3.9	▲1.1	▲1.2	▲3.1	▲2.4

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲2.4	16.0	8.6	0.2	▲1.2	3.0	7.2	1.6
電気機械工業	▲39.7	5.0	8.5	9.3	▲2.3	▲2.5	▲7.0	▲0.7
輸送機械工業	▲51.6	▲30.7	▲12.4	7.2	9.0	7.8	14.9	▲22.7
化学工業	▲12.6	▲8.9	▲11.9	▲9.8	▲4.6	▲5.4	1.5	5.9
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.4	▲2.7	▲0.4	0.0	3.0	1.0	0.6	▲2.5
食料品・たばこ工業	▲7.8	15.5	7.5	▲9.3	5.1	8.1	15.6	1.7

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

8 月 = 1.55倍

*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

8月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.55倍となり、前月を0.02ポイント下回った。また、6か月連続で全国値を上回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比9.1%増)は19か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比12.2%減)、卸売業・小売業(同5.7%減)がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同15.3%増)が19か月連続、製造業(同11.0%増)が22か月連続、運輸業・郵便業(同19.6%増)が10か月連続、医療・福祉(同15.4%増)が12か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同6.8%増)が18か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
県	1.43	1.42	1.47	1.51	1.54	1.57	1.57	1.55
全 国	1.43	1.43	1.45	1.48	1.49	1.51	1.52	1.52

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建 設 業	13.5	15.7	11.4	10.5	15.2	11.7	7.3	15.3
製 造 業	12.0	12.0	14.9	7.4	21.8	33.2	13.2	11.0
情 報 通 信 業	▲ 19.8	▲ 12.7	9.4	4.5	16.4	▲ 15.8	8.1	▲ 12.2
運 輸 業 ・ 郵 便 業	17.1	16.8	2.3	15.9	13.8	8.0	2.7	19.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	4.9	▲ 2.7	▲ 9.6	▲ 3.5	▲ 6.2	▲ 9.2	10.0	▲ 5.7
医 療 ・ 福 祉	9.4	5.1	10.9	1.8	16.1	14.7	0.3	15.4
サービス業(他に分類されないもの)	15.9	32.9	14.3	16.5	24.5	21.6	11.5	6.8
合 計	10.3	9.2	6.6	8.3	12.3	13.4	8.1	9.1

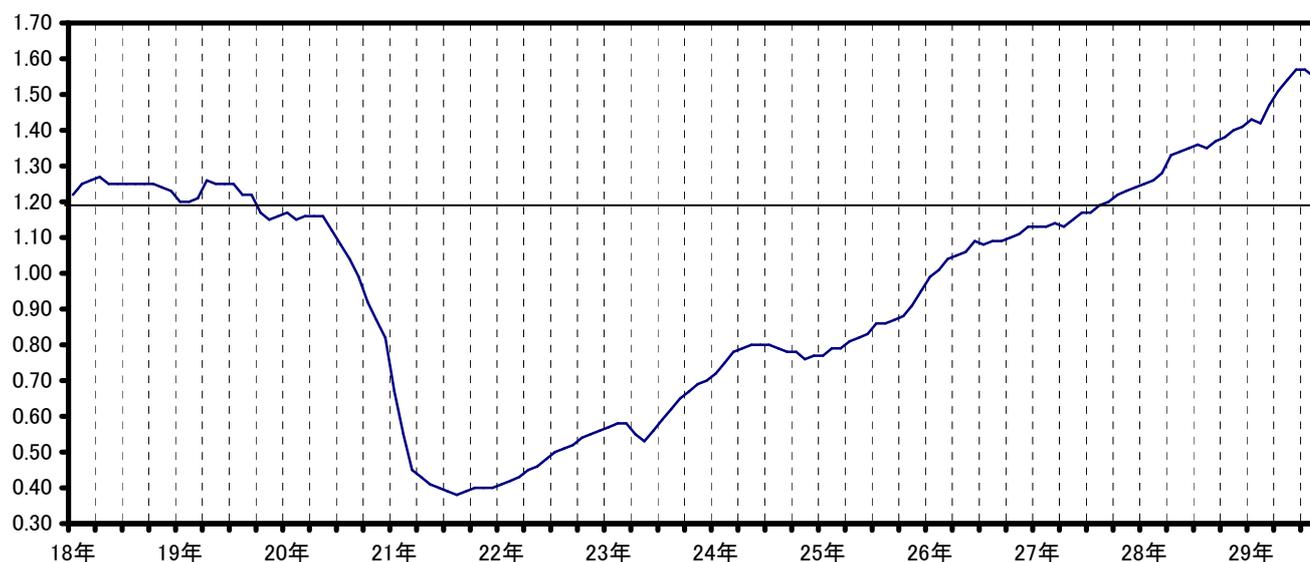
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

8月 = 11,844人

*前月比: 6.8%増

*前年同月比: 11.0%減

<概況>

8月の雇用保険受給者実人員は11,844人で、前月比は6.8%増と4か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は11.0%減と49か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%で、前月と同水準だった。

静岡県(平成29年4~6月)の完全失業率は2.4%で、前期(29年1~3月)から0.1ポイント悪化した。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実人員(人)	10,725	10,163	10,036	9,531	10,897	11,025	11,093	11,844
前月比(%)	▲1.8	▲5.2	▲1.2	▲5.0	14.3	1.2	0.6	6.8
前年同月比(%)	▲14.4	▲15.6	▲14.0	▲14.2	▲8.8	▲11.9	▲11.8	▲11.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.6	▲9.5	▲7.7	▲8.5	▲3.7	▲7.8	▲6.5	▲6.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完全失業率(全国)(%)	3.0	2.8	2.8	2.8	3.1	2.8	2.8	2.8

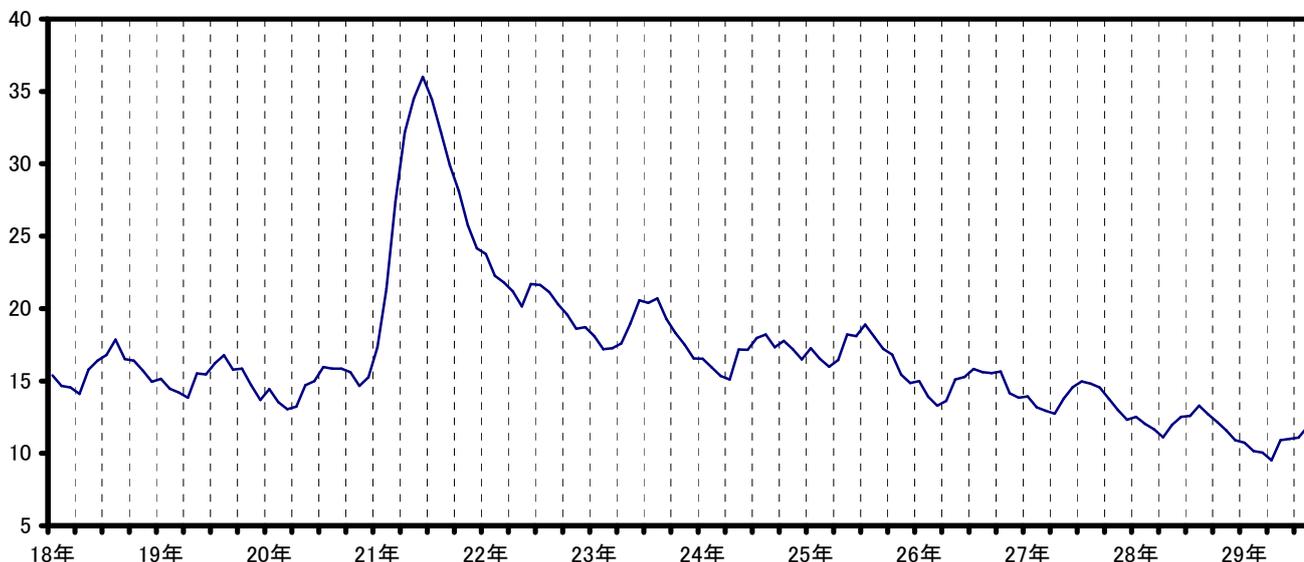
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

7月 = 103.2

*前月比(季節調整済指数): 2.2%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

7月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は103.2(季節調整済指数)で、前月比2.2%減となった。また、前年同月比(原指数)は同水準だった。

業種別にみると、建設業(前年同月比13.4%減)が3か月ぶり、製造業(同0.3%減)が6か月ぶり、運輸業・郵便業(同1.1%減)、医療・福祉(同2.8%減)がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったものの、情報通信業(同3.4%増)が4か月ぶり、卸売業・小売業(同24.8%増)が2か月連続、その他のサービス業(同12.6%増)が8か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
指数	99.8	99.0	103.2	102.0	103.6	104.7	105.5	103.2
前月比(%)	▲1.5	▲0.8	4.2	▲1.2	1.6	1.1	0.8	▲2.2
前年同月比(%)	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0	1.3	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.2	▲0.2	0.6	▲0.9	▲0.9	0.6	▲1.8	▲0.9

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建設業	▲14.7	▲19.4	▲14.4	▲10.6	▲22.3	19.5	5.2	▲13.4
製造業	2.6	▲0.2	4.8	13.2	5.0	8.4	7.6	▲0.3
情報通信業	▲6.1	▲1.1	0.1	1.2	▲4.2	▲1.2	▲4.6	3.4
運輸業・郵便業	▲6.5	5.1	1.7	▲1.6	▲2.8	▲1.7	▲3.8	▲1.1
卸売業・小売業	▲24.7	▲13.5	▲23.1	▲25.7	▲14.1	▲13.5	2.6	24.8
医療・福祉	7.0	3.4	14.4	▲8.0	▲10.1	▲3.0	▲14.0	▲2.8
その他のサービス業	▲6.3	▲27.9	▲23.6	▲10.5	▲26.9	▲22.5	▲5.3	12.6
調査産業計	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1	0.0	0.0	1.3	0.0

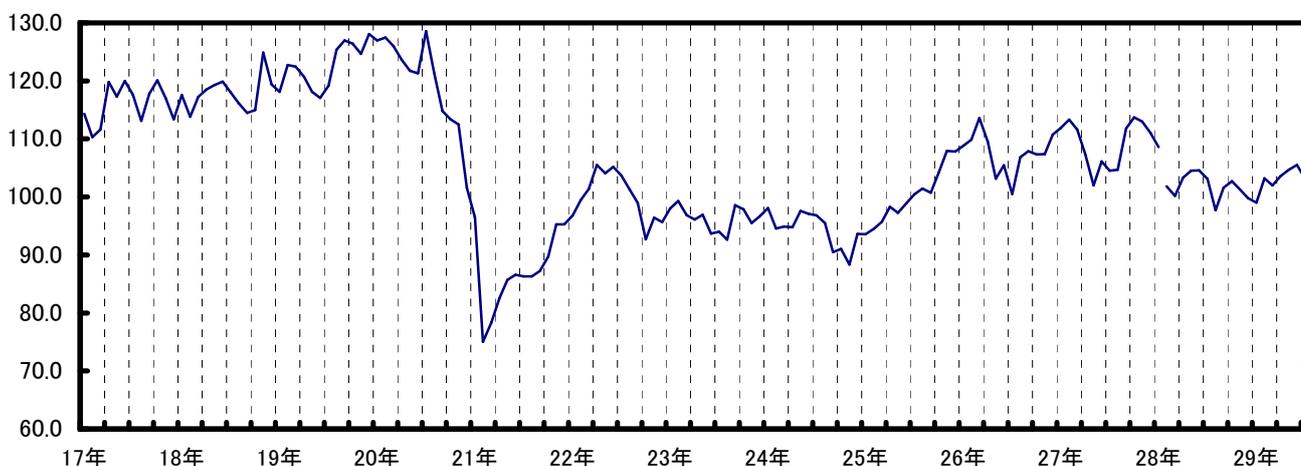
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

9 月 = 99.0

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.2%上昇

*前年同月比: 3.0%上昇

<概 況>

9月の国内企業物価指数は99.0となり、前月比は0.2%の上昇となった。また、前年同月比は3.0%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国内企業物価指数	98.0	98.2	98.4	98.4	98.5	98.8	98.8	99.0
前 月 比 (%)	0.3	0.2	0.2	0.0	0.1	0.3	0.0	0.2
前年同月比 (%)	1.1	1.4	2.1	2.1	2.2	2.6	2.9	3.0

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

8 月 = 139,196億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.4%増

<概 況>

8月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,196億円で、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.4%の増加となった。

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出残高(億円)	137,805	137,857	139,752	138,500	138,440	139,225	139,248	139,196
前 月 比 (%)	▲ 0.9	0.0	1.4	▲ 0.9	0.0	0.6	0.0	0.0
前年同月比 (%)	1.3	1.6	1.2	2.0	2.1	2.3	2.4	2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8 月 = 2.122%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.002ポイント増

*前年同月差: 0.032ポイント減

<概 況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.122%で、前月から0.002ポイントの増加となった。なお、前年同月差は0.032ポイントのマイナスとなった。

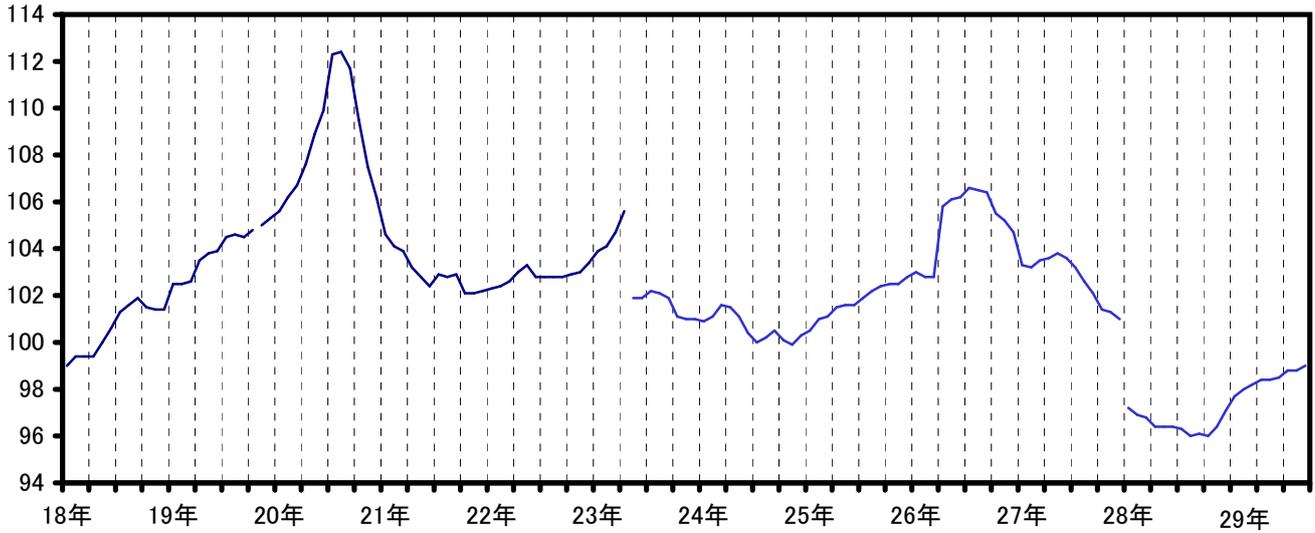
	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利(%)	2.134	2.138	2.128	2.133	2.131	2.123	2.120	2.122
前月差(ポイント)	0.005	0.004	▲ 0.010	0.005	▲ 0.002	▲ 0.008	▲ 0.003	0.002
前年同月差(ポイント)	▲ 0.025	▲ 0.026	▲ 0.017	▲ 0.023	▲ 0.021	▲ 0.030	▲ 0.035	▲ 0.032

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

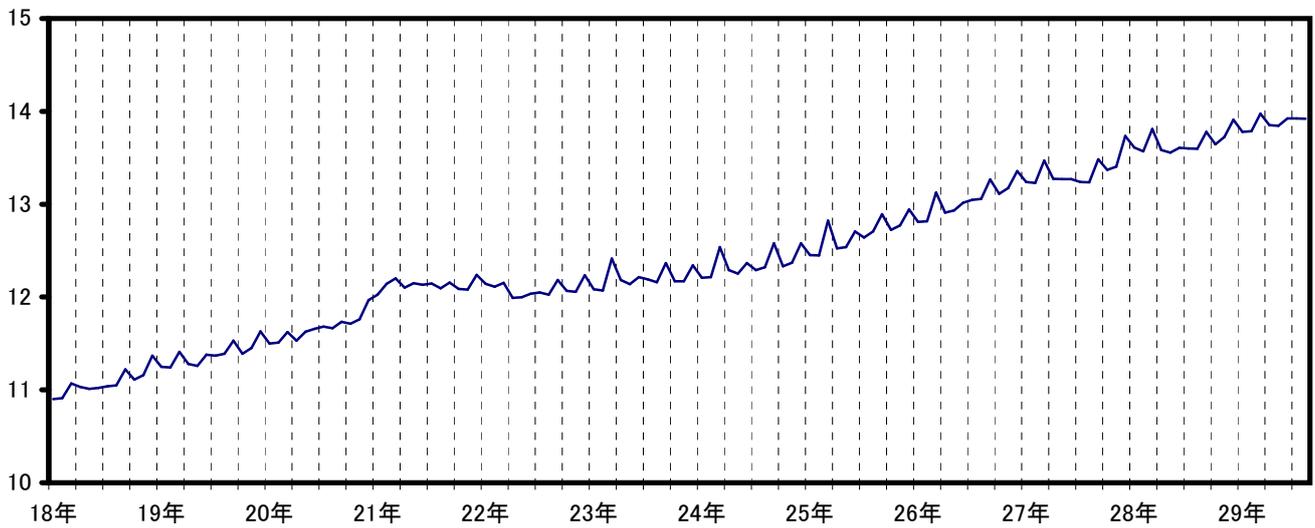
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



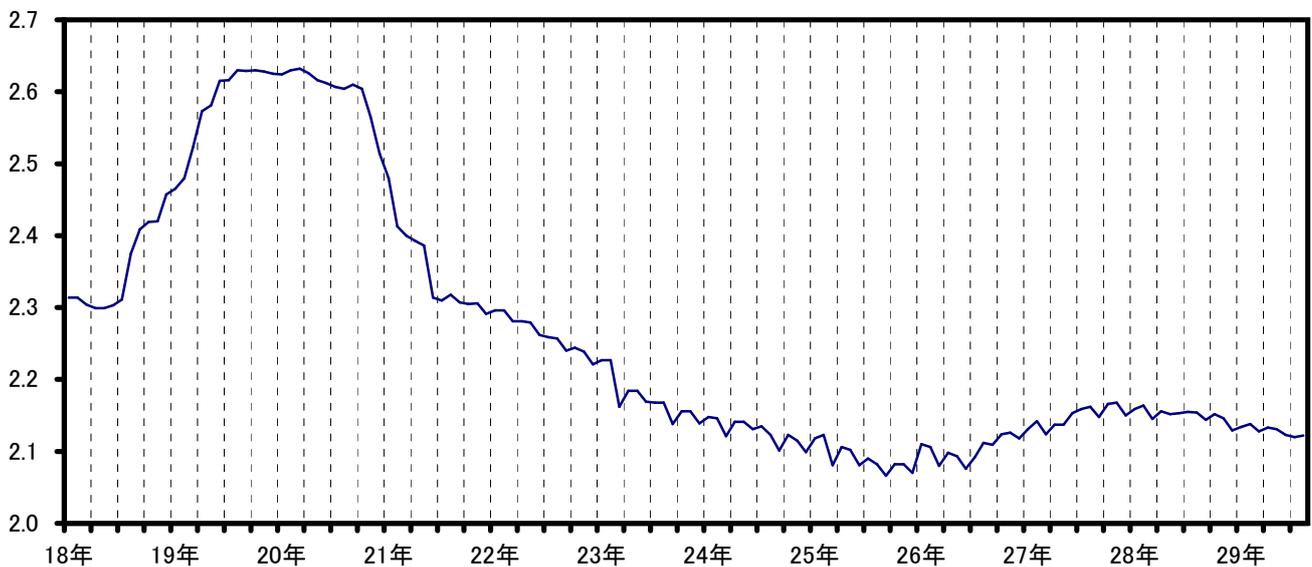
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**8 月 = 18,145百万円**

*前年同月比： 19.6%減

<概況>

8月の保証承諾は、金額が18,145百万円（前年同月比 19.6%減）と5か月連続で前年実績を下回り、件数は1,933件（同 11.0%減）と29か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
保証金額（百万円）	14,049	18,177	26,040	11,692	14,148	19,274	17,411	18,145
前年同月比（%）	▲ 8.3	▲ 2.4	4.3	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 16.7	▲ 15.9	▲ 19.6
保証件数（件）	1,504	1,818	2,412	1,380	1,608	1,985	1,738	1,933
前年同月比（%）	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 8.0	▲ 13.7	▲ 12.4	▲ 14.6	▲ 13.5	▲ 11.0

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**9 月 = 110.68円/ドル**

*前月差： 0.77円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 8.64円安

<概況>

9月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は110.68円で、前月と比べて0.77円の円安となり、2か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	29年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
平均相場（円）	113.06	113.01	110.06	112.21	110.91	112.44	109.91	110.68
前月差（円）	▲ 1.67	▲ 0.05	▲ 2.95	2.15	▲ 1.30	1.53	▲ 2.53	0.77
前年同月差（円）	▲ 1.96	▲ 0.06	0.18	3.06	5.42	8.54	8.64	8.64

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****9 月 = 23件**

*前年同月比： 4.5%増

<概況>

9月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は23件（前年同月比 4.5%増）と、前年実績を上回った。負債総額は1,558百万円（同 32.6%減）と、前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が22件と全体の95.7%を占め、238か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

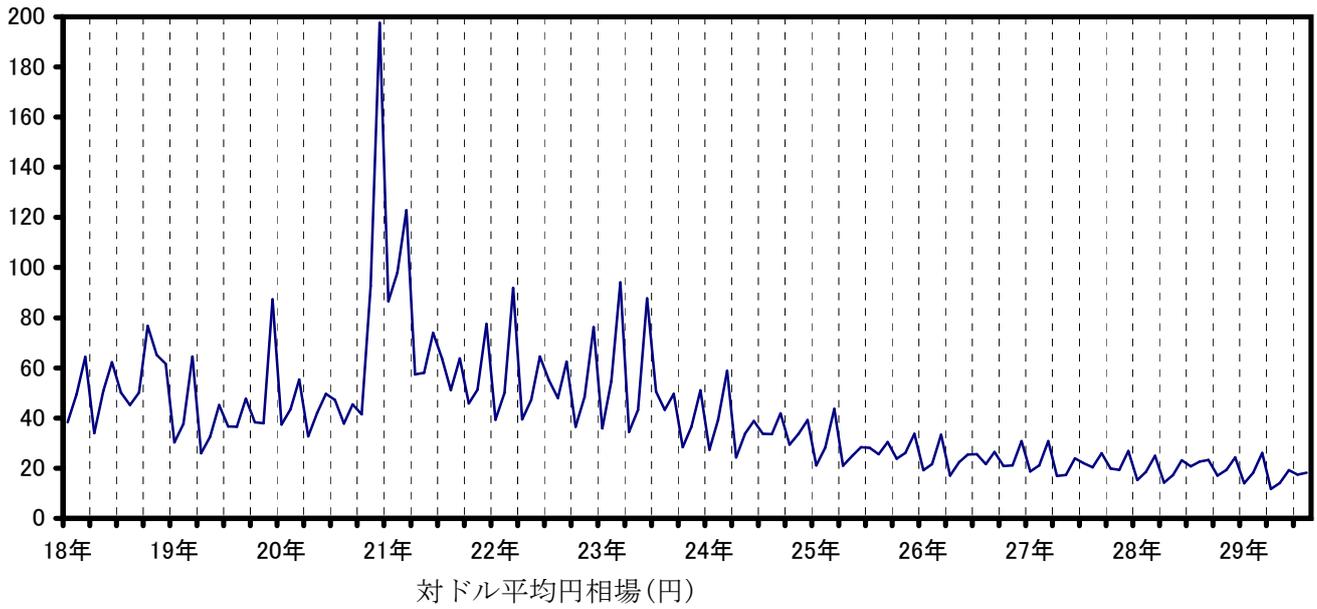
	29年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
倒産件数（件）	18	31	23	18	23	27	21	23
前年同月比（%）	▲ 33.3	24.0	91.6	▲ 48.5	▲ 25.8	▲ 25.0	10.5	4.5
うち不況型倒産件数(件)	17	30	17	17	20	24	20	22
負債総額（百万円）	7,787	7,258	6,604	2,338	2,940	3,157	1,679	1,558
前年同月比（%）	164.0	150.3	287.5	▲ 73.4	▲ 42.2	▲ 62.8	▲ 18.6	▲ 32.6

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

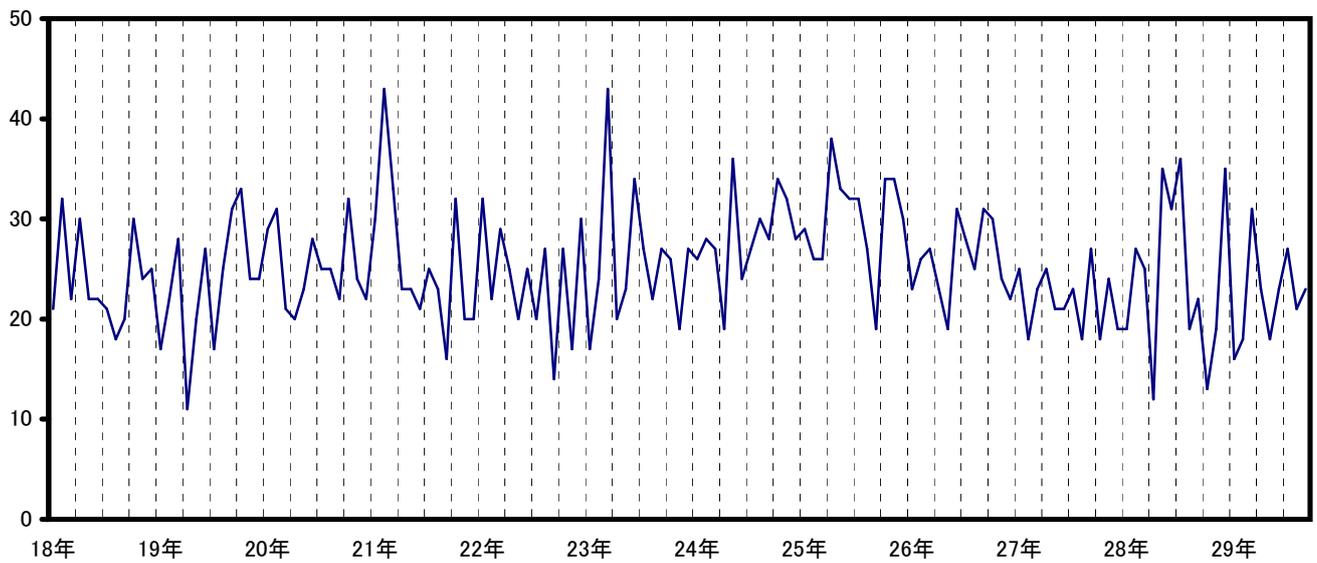
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年8月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、40,364台（前年同月比 26.9%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、6,976台（同 81.1%増）と、12か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,017台（同 0.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,411台（同 20.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、23,960台（同 41.4%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、28,182台（同 13.8%増）と、11か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、27,065台（同 18.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、695,761台（前年同月比 5.6%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は359,536台（同 9.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が10か月連続、トラックが4か月ぶりに前年実績を上回ったことから、全体でも10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>8月の冷蔵庫の国内出荷額は409億円（前年同月比 0.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は385千台（同 1.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>8月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは714千台（同 9.8%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。業務用は74千台（同 9.8%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>7月の携帯電話の国内出荷台数は、1,664千台（同 13.9%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,196千台（同 23.9%増）と、2か月ぶりに前年を上回った。単月のスマートフォン比率は 71.9%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>8月の工作機械の受注総額は、1,335億3,600万円（前年同月比 36.2%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は817億5,700万円（同 48.8%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが429億1,100万円（同 82.0%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。内需は517億7,900万円（同 20.1%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「自動化、ロボット化に伴う海外からのオーダーが急増している」という声や「半導体関連装置は引き続き好調を維持している」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>8月の県内楽器メーカーの販売金額は、44億2,800万円（前年同月比 9.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが26億7,300万円（同 0.1%減）で、国内向けが17億5,500万円（同 21.7%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,525台（同 8.1%減）であった。機種別では、アップライトピアノが1,713台（同 7.6%減）、グランドピアノが812台（同 9.3%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,214台（同 1.5%減）、国内向けが721台（同 23.5%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>8月の紙・板紙の国内出荷高は、1,987千トン（前年同月比 0.6%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,079千トン（同 2.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。板紙は908千トン（同 2.2%増）と、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、587千トン（同 2.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、150千トン（同 1.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>8月の県内生産量は、食缶類が国内向け976千箱（前年同月比 0.1%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は651千箱（同 13.0%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は492千箱（同 10.2%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は324千箱（同 42.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,648千箱（同 3.0%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>8月の広幅織物の県内生産は、1,110千㎡（前年同月比 2.2%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,056千㎡（同 2.4%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、54千㎡（同 1.8%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、25千㎡（同 6.0%減）と、20か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>8月の全国百貨店での家具販売額は、46億749万円（前年同月比 13.1%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、542億595万円（同 4.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>8月の県内百貨店の売上高は、対前年比で0.2%増加した。</p> <p>商品別では、対前年比で猛暑日が1日増え、秋物の立ち上がり時期に猛暑日が集中したことから衣料品が苦戦したものの、化粧品及び美術品・宝飾品・貴金属が引き続き好調を維持し売上をけん引した。また、静岡市で開催された音楽イベントの効果もあり、入店客数も前年を上回った。</p> <p>中部・東部の総合スーパー及び東部に拠点を置く食品スーパーへの聞き取りでは、低気温や天候不順の影響で、水着やアイスクリーム、バーベキュー用食材等の売行きが伸び悩んだものの、中部の食品スーパーではお盆期間の菓子類のギフトが好調だった。また、県内商店街では、各地で恒例の夜店市が開催され、大勢の人で賑わった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>8月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約56万人と、前年同月比 2.0%増であった。今年も、伊豆地域の観光施設を中心に来場者で賑わったことから、入込客数が増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約88万台と、前年同月に比べて2.4%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
完成車生産台数(台)	19,835	19,174	22,068	27,781	21,687	19,492	17,298	14,990	16,110
前年同月比(%)	6.7	▲5.7	▲3.9	22.9	3.7	16.0	4.9	▲10.9	20.0
KD輸出額(百万円)	716	712	705	651	680	635	714	772	575
前年同月比(%)	▲22.4	▲3.8	▲1.9	▲7.7	5.3	18.7	▲6.1	14.0	▲24.6

<楽器>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
生産総額(百万円)	3,294	3,082	3,371	3,723	3,403	3,554	3,731	3,355	2,933
前年同月比(%)	▲10.2	▲8.0	▲6.5	▲2.6	▲11.3	5.3	▲10.2	▲12.1	▲11.4

<缶詰>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
食缶生産高(千ケース)	815	825	866	996	965	888	999	966	976
前年同月比(%)	▲7.2	0.2	3.9	▲0.2	▲4.5	▲12.2	▲9.3	▲5.4	▲0.1
うち水産缶詰(%)	▲12.4	▲3.0	▲3.6	▲0.1	▲5.0	▲8.4	▲11.4	▲11.5	▲13.0
農畜産缶詰(%)	8.0	5.3	25.1	▲0.4	▲3.4	▲21.7	▲3.9	11.6	42.4
飲料缶生産高(千ケース)	5,985	4,933	5,761	7,254	8,148	8,392	7,969	8,384	7,648
前年同月比(%)	▲7.4	14.2	12.4	1.1	2.8	0.4	3.3	▲1.1	3.0

<繊維>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
広幅織物(千㎡)	1,694	1,563	1,379	1,321	1,338	1,170	1,137	1,120	1,110
前年同月比(%)	▲3.1	▲3.1	▲4.7	▲9.7	▲11.4	▲2.8	▲4.9	▲1.2	▲2.2
小幅織物(千㎡)	33	33	35	34	33	32	29	27	25
前年同月比(%)	▲14.4	▲0.2	▲3.9	▲8.7	▲9.7	▲2.8	▲3.3	▲0.7	▲6.0

<観光>

	28年12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
観光施設(10施設)入込 (千人)	280	287	268	484	507	638	366	334	563
前年同月比(%)	7.4	1.8	2.7	▲3.8	▲0.6	2.7	10.8	▲7.9	2.0
有料道路(5路線)通行量 (千台)	741	678	688	777	699	759	670	774	883
前年同月比(%)	5.6	4.7	0.9	2.4	2.2	3.6	3.1	2.5	2.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年10月号 通巻498号

発行 静岡県経済産業部
平成29年10月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>